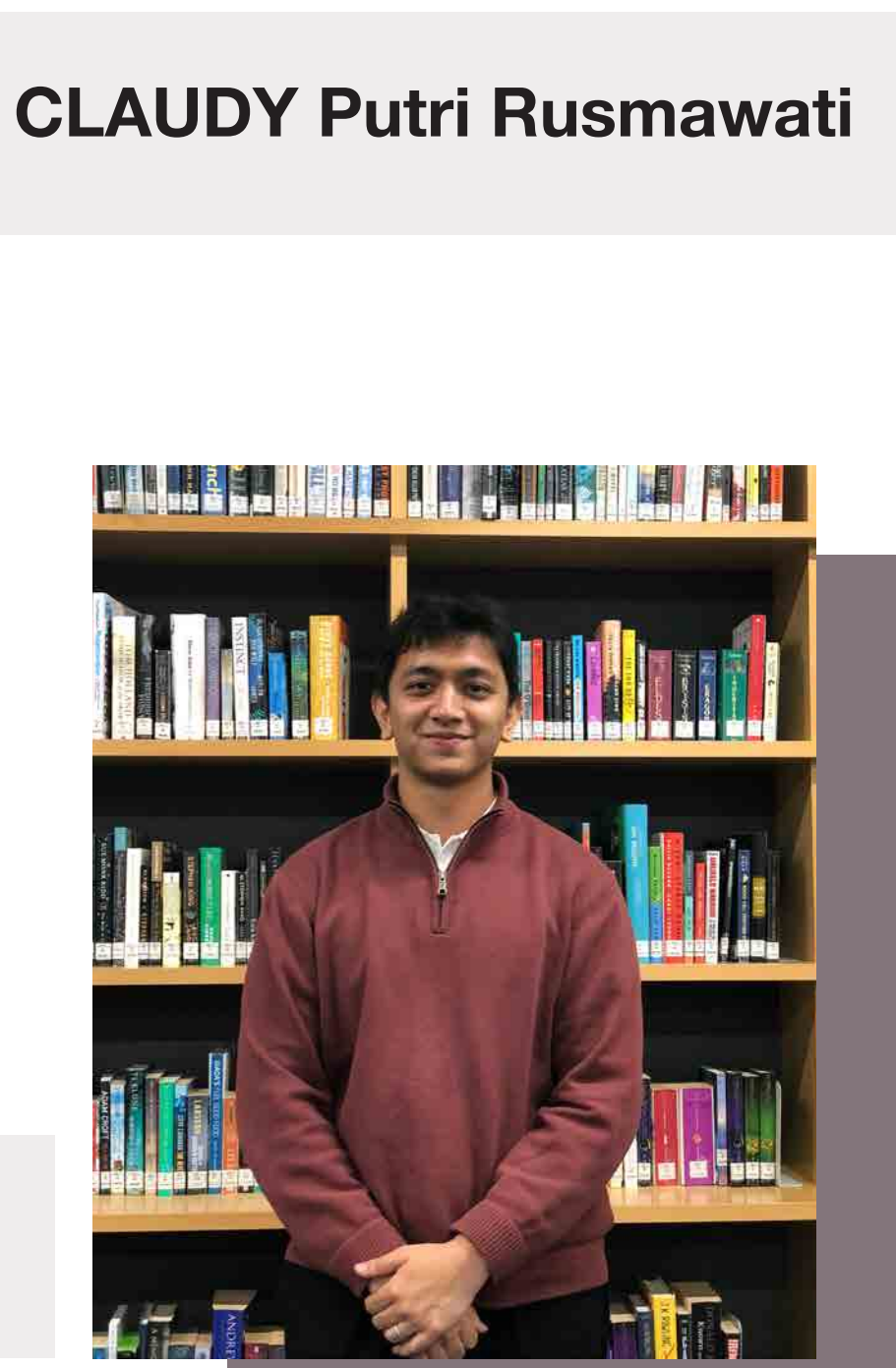


# INTERVIEW WITH CLAUDY & ALI

## 教室を飛び出して：コンペティション参加者からのアドバイス



GHUZALY Ghiandi Amna



CLAUDY Putri Rusmawati

### I. 自己紹介をお願いします

#### クラウディ

私の名前はクラウディです。APMの7セメスター目の4年生で、会計とファイナンスを専攻しています。インドネシア出身です。暇な時は、ドキュメンタリー映画を見ています。

#### アリ

私はゴザリーです。アリと呼んでください。APSの7セメスター目の4年生で、国際関係を専攻しています。インドネシア出身で、趣味はバスケットボールです。

### II. これまで参加した課外活動での体験談を詳しく教えてください。

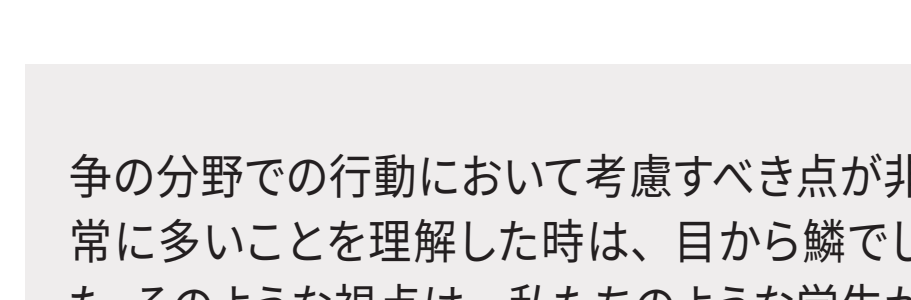
#### アリ

7セメスター目の国際法のゼミで、平野先生から、卒論を書く、もしくは赤十字国際委員会の国際人道法模擬裁判・ロールプレイ大会のようなコンペティションに参加するかの選択肢を提示していただきました。ロールプレイ大会では、国際的武力紛争に関するシナリオと、参加者の役割分担が委員会から提示されます。それに対し、参加者は官庁の職員、ジャーナリスト、囚人、抑留者、看守などの立場から、実際の法(国際

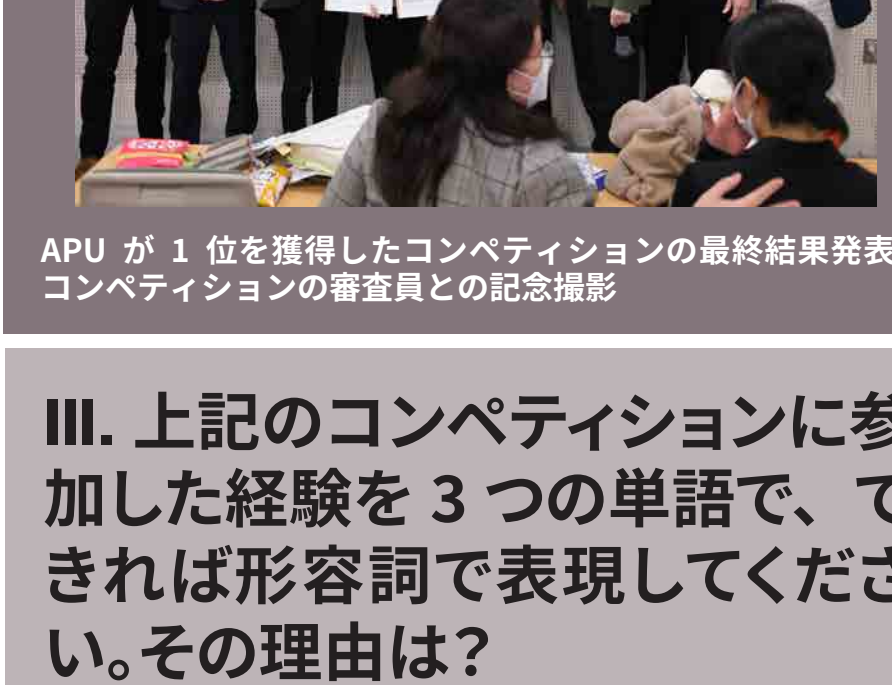
人道法)に基づいて論理的に議論してみようというのがロールプレイ大会です。

#### クラウディ

APMでは、学生が参加できるコンペティションの種類がいくつかあります。多くはビジネス実務に関わるものですが、私は会計とファイナンスを専攻しているため、資産価格や財務評価などのスキルを要する競技に参加していました。例えば、ブルームバーグESG投資コンテストでは、特定の銘柄を選び、その銘柄について分析を行い、投資ポートフォリオを作成することを求められました。他にも、CFA協会リサーチ・チャレンジでは、指定された企業のセルサイドレポートを10ページ作成しました。ちなみに、セルサイドレポートとは、アナリストが顧客の投資判断のために「買い」「保有」「売り」の推奨を行う、最も一般的な株式調査報告書のことです。



APUキャンパスでトロフィーを手にするチーム



APUが1位を獲得したコンペティションの最終結果発表、コンペティションの審査員との記念撮影

### III. 上記のコンペティションに参加した経験を3つの単語で、できれば形容詞で表現してください。その理由は?

#### アリ

まず、大会に参加することは「刺激的」だったと思います。東京に行く、対面でコンペティションを行い、新しい方々と出会ったことは、私が2、3回生の時に残念ながらできなかったので憧れの刺激的体験でした。

2つ目は「目から鱗」です。コンペティションに参加するまで、国際法理論を校内授業で学んでいました。ですが、理論を実践した際に、国際法紛

争の分野での行動において考慮すべき点が非常に多いことを理解した時は、目から鱗でした。そのような視点は、私たちのような学生がもっと探ってみるべきものだと思います。

3つ目は「励みになった」と思います。幸いなことに、APUチームはこのコンペティションで2年連続の1位を獲得しました。私たちはICRCから、今年3月にアルバイタで開催されるロールプレイ大会に参加するためのチケットを全額負担してもらうことになりました。私たち3人にとって、この結果は、国際法の分野での知識や問いをさらに追求する励みになりました。

#### クラウディ

まず、一つ目は「ストレスフル」でした。コンペティションに参加するのはストレスがたまることでした。一次調査や財務分析など、勉強と並行してこなさなければならないことがたくさんありました。

それでも、2つ目の言葉は「充実感」です。学校の授業よりも、コンペティションの方が現実的で、とても充実していました。

そして、3つ目の言葉は「思い出」です。大会を通して関わった人たちの絆、将来役に立つスキル、そして東京に行くなど、思い出に残る体験ができました。

### IV. 大会参加、勉強、アルバイトなど、他の仕事とのバランスはどのようにとられていましたか?

#### クラウディ

第一に、簡単なことではありません。でも、優先順位が大事なものです。時には、両立できないという状況に陥り、メンバーストressアップし、手に負えないものを削ぎ落としました。私の場合は、大学での勉強を最優先し、次にコンペティション、その次に課外活動、サークル、アルバイトを優先しました。

#### アリ

クラウディに全面的に賛成です。優先順位をつけるべきだと思います。付け加えるなら、このようなコンペティションに参加するときはチームワークが大切で、メンバーそれぞれが異なる優先順位を持っているため、コミュニケーションが欠かせません。ですから、その目標や優先順位をお互いに理解し、必要に応じてサポートし合うことが大切です。

### V. これらの大会に参加するにあたって、犠牲にしたものはありますか?

#### クラウディ

まず、睡眠を犠牲にしました。次に、作業をするために高級なカフェで飲んだコーヒーにお金がかかりました。でも、一番犠牲にしたものは睡眠だったと思います。

#### アリ

やっぱり、睡眠ですよ。睡眠と時間。一度にやらなければならないことがたくさんあって、コンペティションはかなり時間がかかりました。お金の面では、東京遠征の際にコーヒー代や交通費、宿泊費などかなりの出費がありました。しかし、これらの犠牲や出費は、ここで得た経験や学びに比べれば、比較にならないほど大きなものでした。

#### クラウディ

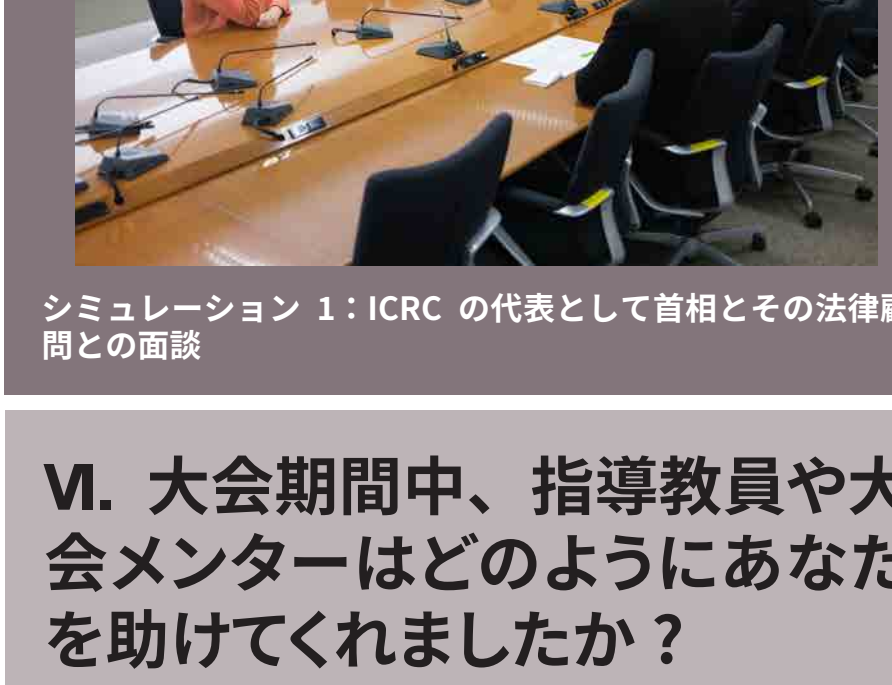
お金の面では、なんとかかなと思います。睡眠もそれぞれ。でも、アリにひとつ質問があるのですが、メンタル的な犠牲はどうでしたか?

#### アリ

そうですね。一番大きかったのは、プレッシャーです。限られた時間の中で多くのことをこなさなければならぬというプレッシャーと、前年の同じ大会で優勝しているというプレッシャーが混在していると思います。このプレッシャーがメンタルに影響を与えていました。そういった時はチームメイトや友人、指導して下さる教授などに相談することが、一番良い対処法だと思います。

#### クラウディ

私もプレッシャーを感じましたが、それがモチベーションの源にもなっていると思います。また、このコンペティションに参加するために犠牲にしたものは、自分が得た経験に値すると、自身の専攻分野やチームワーク、コミュニケーションにおいて知識を得ることができたので、その価値を感じています。



シミュレーション 1: ICRC の代表として首相とその法律顧問との面談

### VI. 大会期間中、指導教員や大会メンターはどのようにあなたを助けてくれましたか?

#### アリ

教授陣のサポートがなければ、今の私たちはなかったと思います。平野先生は、私たちが練習できるようにシナリオを作成したり、国際人道法で使われる聞き慣れない用語を把握するのにとても時間を割いてくださいました。そのサポートは絶大なものでしたが、平野先生も多くの時間を犠牲にしてくださいました。私たちが時間を割いてくださったのは、学生に対して献身的な姿勢を表していると思います。感謝してもきれません。

#### クラウディ

私のチームは、登録時にCFA協会から、CFA協会認定証券アナリストであり、アムンティ・ジャパン株式会社で働いている浦さんと、APUからは李根熙先生の2名のメンターと一緒に大会に臨みました。李根熙先生と浦さんには、知識面でもメンタル面でも、私たちチームを大きくサポートしていただきました。また、APUの多くの教員も私たちを助け、励ましの言葉を送ってくれました。クラスの仲間も、私たちがコンペティションに参加することを知ると、たくさん応援してくれました。

ただ、これから大会に参加する学生に注意してほしいのは、サポート体制はあっても、結局は自分次第で、その効果は変わってくるということです。私が初めて参加した大会では、それほど多くのサポートを受けることができませんでした。2回目の大会では、メンターの方々に声をかけたことで、より多くのサポートを受けることができました。先生方は、私たちの行動を把握していませんが、コミュニケーションを取るようにすれば、いつでも対応していただけます。メールを送ったり、意見を聞いてみたりするだけで良いのです。サポートはたくさんありますが、自分が望んでいることを伝える努力は必要です。

#### アリ

それはいいアドバイスだと思います。多くの学生は、先生は助けてくれないので、忙しなわけではないかと思いきや、緊張や恐怖心から、先生にアプローチできていないように思います。し

かし、APUの教授陣の多くはとても協力的だと思います。私たちが率先して課外活動に参加すれば、先生方はできる限り助けてくださいますし、私たちのことに対する良い評価をしてくださったり、どのように始めたら良いかをアドバイスしてくれたりします。先生たちはコンペティションについて、また自分自身について、学び、探求するために時間を使うよう導いてくれるのです。

また、先輩方のアドバイスも大きなサポートになると思います。先輩方は、自分の経験を生かして行動できるので、協力してくれることが多いです。

### VII. コンペティションでのAPUの教員による指導にアドバイスををお願いします。

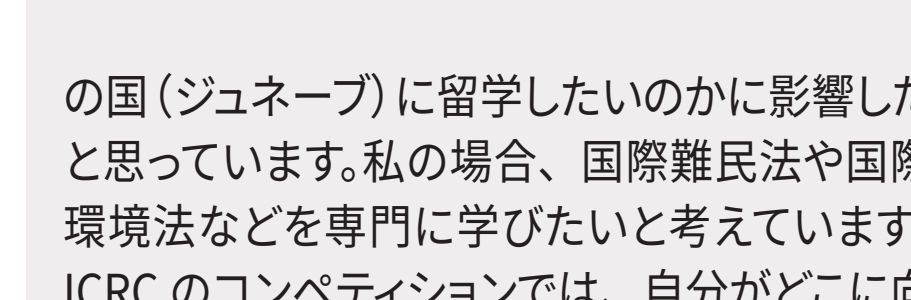
#### クラウディ

コンペティションに応募する前に、コンペティションで何をやる必要があるのかや、どのようなことを知っておくべきなのか、どのように知識を身につければ良いのかなどの指導やガイダンス、セッションがあれば良いと思います。

現在APUでは、コンペティションがあることを学生に伝え、参加の可否を聞くという流れになっていますが、ガイダンスなどがあれば、コンペティションの詳細や過去のAPUの成績などが明らかになります。例えば、次のような質問に答えることができます。必要なものは何ですか? 参加にあたって何時間必要となるのか? どのようなスキルが必要なのか? 私の知る限り、多くの人が負担を感じて途中で断念してしまう傾向にあります。必要な情報を得ることができれば、とても便利だと思います。

#### アリ

コンペティションに参加したい学生が登録できるような、有名なプラットフォームがあれば良いと思います。私の場合、ゼミがあれば参加していませんでした。また、コンペティションに応募した後も、教員から指導やサポートを受けられるようなプラットフォームがあれば、学生がもっとコンペティションに参加するきっかけになると思います。



プレゼンテーションの様子

### VIII. コンペティションに参加したことで、どのようなメリットが得られたか、具体的に教えてください。(就職活動、研究、論文執筆など)

#### クラウディ

優勝した場合は特に、履歴書にそのことを書くことができます。また、優勝する、しないに関わらず、こうしたコンペティションに参加することで、実戦に近い課題を解決した、教科書の理論を使えるようになった、という自信がつくと思います。このような自信は、就職活動や卒論執筆の際に大きな利点となるはずだと思います。このような課題に取り組んだことで得られる自信は、コンペティションに参加することで得られる、最も大きな成果の1つです。

#### アリ

ICRCのコンペティションに参加した私たちは、コンペティションを振り返る中で、取り扱ったテーマへの関心が高まり、論文を書く際に何を探索するのが決まりました。コンペティション前にたくさん調べたことで、国際法に詳しくなり、論文の発見、執筆の手順も明確になりました。

現在、私たち3人は大学院の受験を希望しています。コンペティションでの経験は、専攻と自分自身を知る機会を与えてくれました。それに伴い、どのような学問的目標を達成したいのか、どの

の国(ジュネーブ)に留学したいのかに影響したと思っています。私の場合、国際難民法や国際環境法などを専門に学びたいと考えています。ICRCのコンペティションでは、自分がどこに向かっているのか、どんな変化を起こしたいのか、そしてその分野で情熱を持っている人たちに出会うことができました。

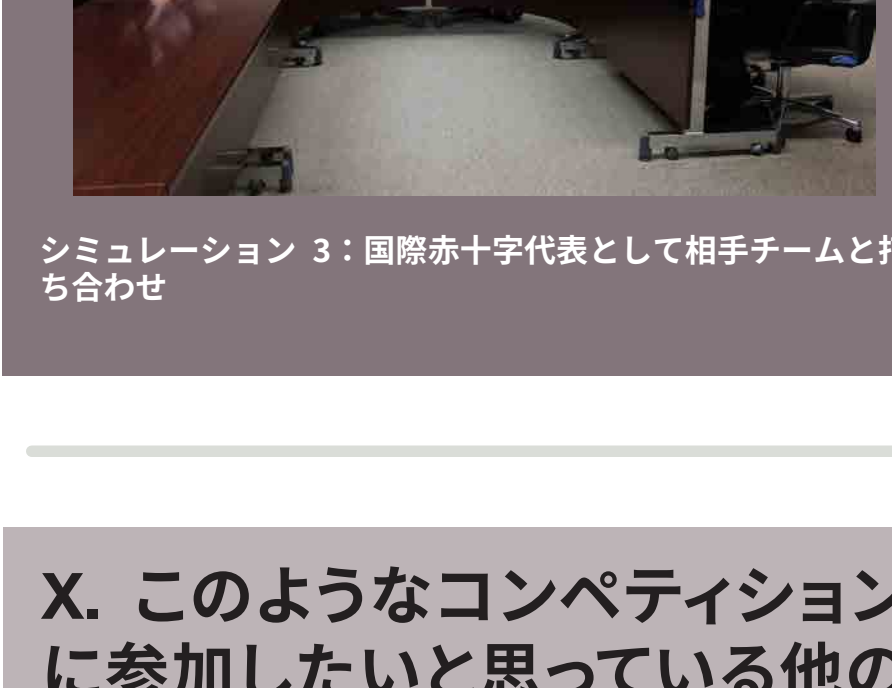
### IX. これらのコンペティションに参加する中で、楽しかった思い出はありますか?

#### アリ

コンペティションでは、ロールプレイが求められるので、法律知識と演技力の2つが練習が必要でした。大会の練習では、一人が軍人、一人が総理大臣を演じなければならなかったことが面白かったです。本番では、委員会の方々が軍人を演じてました。本物の銃はないので、ビングルの銃を使っていました。委員会の方々部屋に入った途端、真面目に行かないといけなくて、3人ともにやりにやりました。全体として、演技パートはコンペティションの意外な面白さを知ることができた、とても印象的な体験でした。

#### クラウディ

私の最も印象深く、辛かった経験は、最終ラウンドに行われたイベントです。朝9時から夜9時までの1日かかりのイベントで、夜6時からネットワーキングセッションがありました。私はあまりフォーマルな靴を履かないのですが、そういった靴を2年ぶりに履きました。ヒールを履いて3時間も立ちっぱなしでした。その後、トイレに行ったのですが、あまりにも辛かったので15分も床に座っていました。あまりに疲れていたため、戻ってからチームメイトに言いました。「みんなが恥ずかしくても、私は気にせず裸足で歩こう」と。そうしたらチームメイトは親切にも靴を交換くれたんです。なのでチームメイトにはその分の借りがあります。



シミュレーション 3: 国際赤十字代表として相手チームと打ち合わせ

### X. このようなコンペティションに参加したいと思っている他の学生へのアドバイスををお願いします。

#### アリ

ありきたりなアドバイスかもしれませんが、自分から積極的に参加すること。そして、たとえ知らないコンペティションであっても、怖がらずに挑戦してみてください。どんなことでも、多くのサポートがありますし、多くのことを学ぶことができます。学校では、理論をたくさん学びますが、でも、コンペティションに参加すれば、それを実際に応用でき、就職活動や仕事、進学など、長い目で見たときにプラスになるはずですよ。

#### クラウディ

これからコンペティションに参加する人たちに伝えたいことは、失うものは何も無い、というこ



指導教員であるAPUの李根熙教授(左)、指導教員であるアムンティ・ジャパン株式会社浦平氏(右)と共に。

とです。最悪の場合、優勝できないかもしれませんが、それでも何かを学ぶことはできます。だから、勝つことよりも、学ぶことのほうが大事だと思うのです。そのような考え方を持つことで、自分が何を重視したいのか、チャレンジすることができるようになります。つまり、トロフィーが買えなくても、勝つための方法はたくさんあるのです。

## インタビューの感想

クラウディとアリとのいたビューの中で、私は大いに刺激を受けました。二人は謙虚で、尊敬の念を持ち、知識が豊富でした。この記事を読んでいる方にも同じように感じてもらえると思います。クラウディとアリは、私今までAPUで出会った人の中で最も勤勉で賢い人たちです。この記事を通して、彼らの経験や知識を伝えることで、より多くの人が大会に参加し、積極的に大学生活を送るきっかけになればと思います。



## インタビュアー & ライター



### インタビュアー

名前: ロレッニジ・ケリー  
学部: APS (ED)  
出身: マーシャル諸島  
メッセージ: ヤッコエ(こんにちは)  
3年生で環境・開発専攻の1年と申します。旅行とウクレレが大好きです。私たちの記事を読むことにより、読者みなさんが先生方が教えてくださった教授法の中から、大切な知識を得られることを願っています。



### 「Q」とは

APUで素晴らしい授業を行っている先生方はたくさんいらっしゃいますが、先生方が授業中にどのような工夫をしているのかが知ることが出来れば、他の先生の授業改善にも役立つ。そのために、インタビューをして授業の工夫を教えてください、ということから始めた取り組みです。この記事は、授業の「Quality=質」を高める、質を高めるための「Question=問」に答える、授業改善の「Queue=列」をなす、など、色々な意味を込めて「Q」と名付けました。先生方の授業の質向上の「Quest」に役立てられると幸いです。

翻訳: 小林 翔翔